



Japan Mobility Show

ジャパンモビリティショー2025 概要資料



一般社団法人日本自動車工業会
JAPAN MOBILITY SHOW 事務局



JAPAN MOBILITY SHOW について

1954 東京・日比谷公園で第1回「全日本自動車ショー」として開催。当時は乗用車よりもトラックやバスなどの商用車であり、また自動車一般家庭に普及しておらず、自動車の展示が珍しかったため、多くの来場者を集めた。



1955 第2回開催
1956 第3回開催
1957 第4回開催
「PRセンター」にて自動車デザインを取り上げ、「自動車なんでも相談室」を開設。宣伝の場から商談の場へと進化を遂げた年であった。



1958 第5回開催
1959 第6回開催
1954~
歴史の始まり

1960~

1970 第17回開催。1954年から毎年開催される。はじめて輸入車が本格的に参加。インターナショナルショーとしてデビューを果たす。

1964 第11回開催
これまでの「全日本自動車ショー」を「東京モーターショー」に改める。東京オリンピック開催を契機に、国内のインフラ産業の発展が加速し多様な車両が紹介されるようになる。



1962 第9回開催
1961 第8回開催
1960 第7回開催

1971 第18回開催
1972 第19回開催
1973 第20回開催
記念すべき20回開催と共に2年に1回のイベントへと変化した。



1975 第21回開催
1977 第22回開催
1979 第23回開催
1970年代には日本車が世界市場で急速に認知され始め、東京モーターショーも国際的なイベントとして注目されるようになった。日本の自動車メーカーは省エネ技術や排ガス規制に対応したエコカー技術に注力し燃費向上技術が展示。

1970~ 国際的な発展

未来的なコンセプトカー

1980~

1989 第28回開催



平成へと年号が変わったこの年、東京モーターショーは第6回以来、30年来的開催地、晴海から千代田・幕張メッセへと会場を移した。同施設のこけら落としイベントとなった第28回ショーのテーマは「自由走。ハートが地球を刺激する」。

1987 第27回開催

1985 第26回開催

1983 第25回開催

1981 第24回開催



IT技術の進化 2000~

2009 第41回開催
2007 第40回開催



「新・総合ショー」として、10年ぶりに開催形態を変更し開催され、エンターテインメント性を高めた参加・体験型の特別イベントを充実させ、来場者に「クルマの夢・楽しさ、素晴らしさ」を体感いただいた。

2005 第39回開催

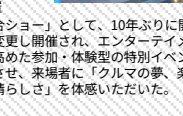
2004 第38回開催

2003 第37回開催

2002 第36回開催

2001 第35回開催

2000 第34回開催



1991 第29回開催
「発見、新関係。人・くるま・地球。」がテーマ。来場者数は東京モーターショー史上はじめて200万人を突破したが、15日間への期間変更や開場時間の延長により、来場者そのものの分散化が図られた。課題を克服しつつあった電気自動車も注目され



1993 第30回開催
1995 第31回開催
1997 第32回開催
1999 第33回開催
1990年代になると東京モーターショーは環境問題やエネルギー効率を大きなテーマとなり、ハイブリッドカーや電気自動車などの環境対応車両が注目を浴びた。1997年にはトヨタがプリウスを発表し、ハイブリッドカーの実用化が進むと同時に、多くの自動車メーカーがエコカー市場に参入しました。

1990~

近代化と環境対応

2011 第42回開催
これまで行っていた幕張から東京ビックサイトへ開催場所を変更。

2013 第43回開催

2015 第44回開催

2017 第45回開催

2019 第46回開催

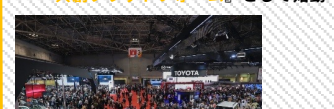
自動運転やAIの活用など、次世代の技術に焦点を当てた展示が増え、この時期、電動化とともにカーシェアリングやMaaS (Mobility as a Service) の概念も注目され、自動車産業の枠を超えたモビリティの未来が議論されるようになりました。

2010~
デジタル革命と自動運転

2023 Japan Mobility Show

東京モーターショーから
JAPAN MOBILITY SHOWへ
ワクワクする未来を、創出していくための『共創プラットフォーム』として始動

「新・総合ショー」として、10年ぶりに開催形態を変更し開催され、エンターテインメント性を高めた参加・体験型の特別イベントを充実させ、来場者に「クルマの夢・楽しさ、素晴らしさ」を体感いただいた。



Japan Mobility Show Bizweek

企業同士をマッチングさせて事業共創を加速させる、ビジネスイベント

Meef-up Box



2024
未来を創る、仲間づくりの場

2025

第48回目となる2025年ショーテーマ
「ワクワクする未来を、探しにいこう！」



第1回:1954年 - 第46回:2019年
TOKYO MOTOR SHOW

『自動車の総合展示会』



東京モーターショー
のDNAを引き継ぎ

Since:2023年

Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、創出していくための

『**共創プラットフォーム**』

モビリティ社会に向けて
未来の共創

豊かで夢のある
モビリティ社会へ

**モビリティ
の魅力訴求**

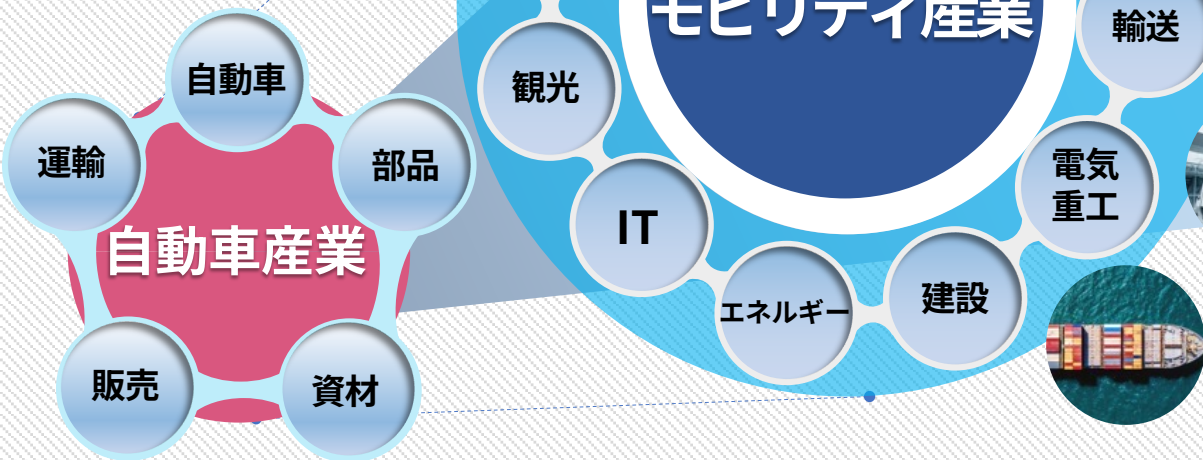
産業・機能・体験
多角的な魅力訴求

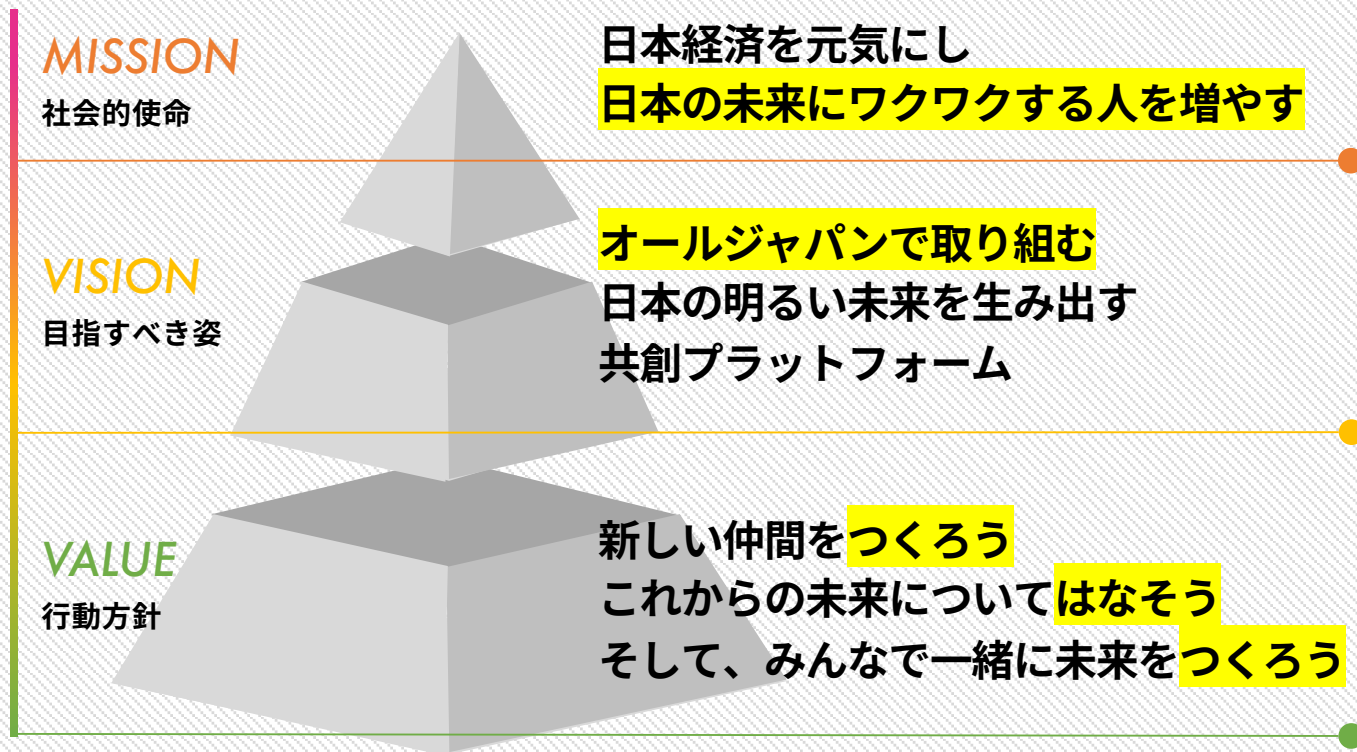
新しい仲間

スタートアップ
他産業の巻き込み

モビリティ産業 の拡張

オールジャパンで
モビリティ産業を成長させていく





2B

ビジネスイベント

Japan Mobility Show Bizweek

モビリティ社会構築に向けて
企業同士の連携強化を図るコミュニティイベント

『未来を創る、仲間づくりの場』

ターゲット

2B：モビリティ関連事業社
2C：モビリティ事業者/モビリティ情報をいち早く感じたい人

2C

2B

ショーケースイベント

Japan Mobility Show

ビジネスイベントでの企業同士の繋がり継続と
生活者へモビリティの未来を伝えるショーイベント

『未来のワクワクを、探しにいく場』

ターゲット

2C：未来のモビリティシーンをいち早く感じたい人
2B：これから仲間になる新たなモビリティ関連企業

交互に実施

ビジネスマッチングプラットフォーム

Meet-up Box



ビジネス商談

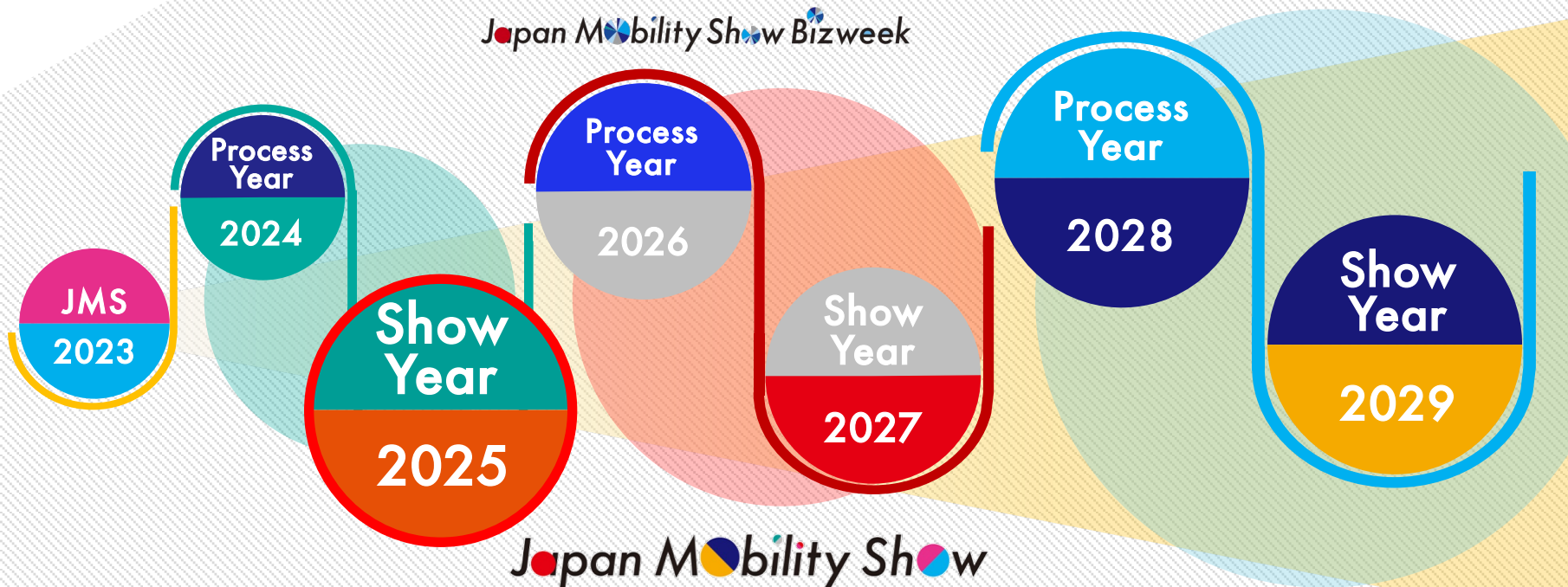


ビジネス共創

未来のモビリティ社会構築に向けて実態あるビジネス共創を推進する企業同志の集まる場

2年をワンパッケージにした継続的な活動として毎年開催

Japan Mobility Show Bizweek





JAPAN MOBILITY SHOW 2023 / 2024 実績

Tokyo Future Tour

(モビリティの未来実演ショー)



モータースポーツ

(屋内・屋外)



e-Motor sports



Personal Mobility Ride

(屋外)



軽トラ市



Japan Future Session

(トークショー)



お笑い
LIVE

音楽
LIVE

ラジオ
公開放送

トミカ

TAKARA
TOMY

キッズニア

KidZania



Startup Future Factory

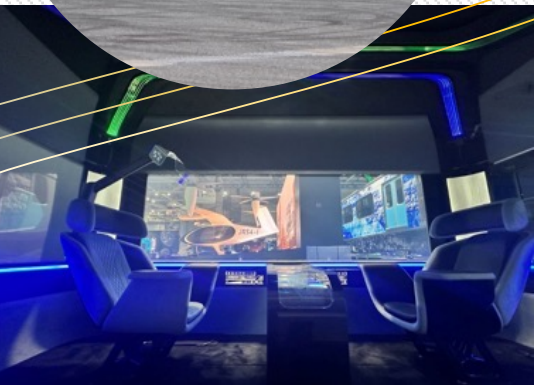
(スタートアップ企業)



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



2023年の様子はこちら：<https://2023.japan-mobility-show.com/gallery/>



Japan Mobility Show
Bizweek 2024

事業会社とスタートアップによる
ブース出展
Find New Business Partners



車両展示



ビジネスマッチング
Promotion of corporate
co-creation



Meet-up Box

スムーズで効率的な
商談が可能に！



未来モビリティ会議
Discussions for Our Future



Future Mobility Forum

Japan Mobility Show Bizweek



Japan Mobility Show

2023年実績

- 会期：23年10月26日(木)-11月5日(日)
- 会場：東京ビッグサイト

参加企業数	約 500 社 過去最高を記録	スタートアップ 約100社	主催者企画の参加 約200社
来場者数	約 111 万人 来場者属性		
	29歳以下男女 39.1%	就労比率 77.5%	新規来場率 22.4%
	東京23区居住 36.6%	家族/友人 74.2%	外国籍 4.2%
メディア露出	約 23,000 件	各メディア露出内訳 TV番組：約300件 新聞：約1700件 WEB：約21,000件	来場プレス数 約10,000人
経済効果	約 1,000 億円		
マッチング件数	430 件		

Japan Mobility Show Bizweek

2024年実績

- 会期：24年10月15日(火)-10月18日(金)
- 会場：幕張メッセ CEATECと併載

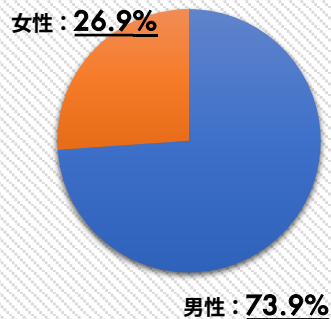
参加企業数	203社	事業会社 58社	スタートアップ 145社
重工業・建設業・電気・IT・情報・通信産業などの新規企業も参加			
マッチング件数	約900件	→	事後アンケートでの推計値 約2,000件
商談件数	約400件	→	事後アンケートでの推計値 約1,700件
業務連携	約100件ほど発生中（アンケートでの推計値）		
メディア露出	約1,400件		
Meet-up Box			
登録企業数	約1,000社	事業会社：450社 スタートアップ：300社 その他：250社・団体	
登録事業数	約2,000件	※24年11月時点	

来場属性

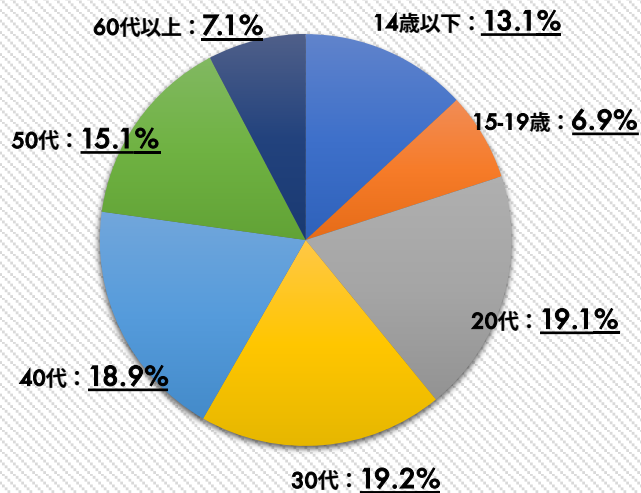
※JMS2023およびJMS2025の想定属性

111万人のお客様が2B・2C両方の顔を持ちご来場いただく総合イベント

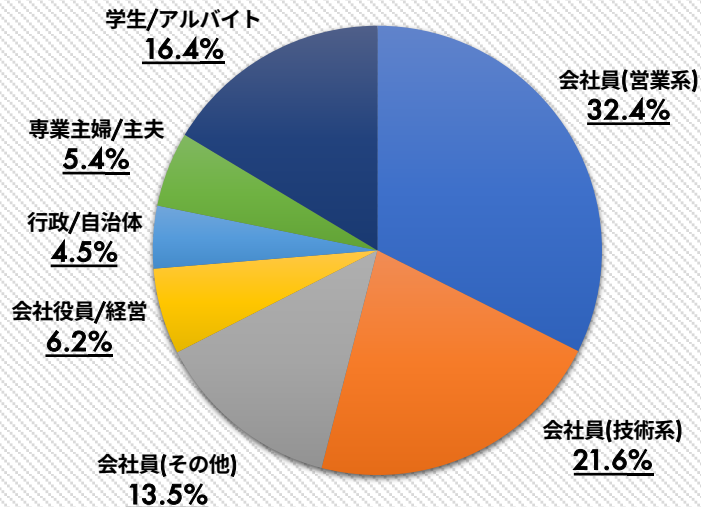
性別



年代



職業



2023年：約23,000件

メディア露出

2024年：約1,400件

Japan Mobility Show

Japan Mobility Show Bizweek



NHK NEWS



NHK_首都圏NEWS



NHK_首都圏ネットワーク



TBS_Nスタ



日本テレビ_every



日本テレビ_DayDay



NHK_おはよう日本



TX_WBX



CX_Live news α



補足)

2023年：報道・情報番組・エンタメ関連など様々な切り口で取り上げられた

2024年：報道・経済番組を中心に取り上げられた



JAPAN MOBILITY SHOW 2025

開催概要

開催期間：2025年10月29日(水) — 11月9日(日)

開催会場：東京ビッグサイト（東・西・南展示棟）

※大規模修繕工事対象ホール（東1・3ホール）を除く全館利用



日程	曜日	開催時間	名称
2025/10/29	(水)	8:00 - 18:00	プレスデー
2025/10/30	(木)	8:00 - 13:00	
		13:30 - 18:00	オフィシャルデー (オープニングセレモニー等招待者)
2025/10/31	(金)	9:00 - 19:00	特別招待日／ 障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日
		13:30 - 19:00	
2025/11/1 2025/11/9	(土) (日)	平日 : 10:00 - 19:00 土曜／祝日 : 9:00 - 19:00 日曜 : 9:00 - 18:00	一般公開日 (9:00 ～ 10:00は、入場可能な特別チケットをお持ちの方のみ入場可能)



Japan Mobility Show

ワクワクする未来を、探しにいこう！

様々なモビリティ関連企業のブース出展に加え、
多くの来場者を楽しんでいただける、3本の柱を中心にした多面的なプログラムを企画中

1 「未来のワクワク」醸成プログラム

#FUTURE

- 役割 -

「モビリティの**未来の姿**」

- 目的 -

未来におけるモビリティの活躍する姿を通して、
日本の未来にワクワクを感じてもらい
JMS全体や世の中への共創機運の醸成

2 「モビリティカルチャー」共感プログラム

#CULTURE

- 役割 -

「モビリティ**そのもの**」

- 目的 -

四輪・二輪をはじめとした様々なモビリティ
の魅力に焦点をあて、モビリティ自体が
もたらしてくれる価値への共感

3 「ビジネス共創」推進プログラム

#CREATION

- 役割 -

「モビリティの**ビジネス**」

- 目的 -

日本経済を明るい方向へ向けていくために
モビリティ産業発展に資する仲間づくりと
企業間の共創を推進

お子様やご家族と一緒に楽しんでいただけるモビリティの総合イベント

#FUTURE



#CREATION



#FOOD



#CULTURE



#KIDS



#EXHIBITION





従来の部門に加えて、IT・情報・通信・公共交通・インフラ
などの出展部門「モビリティ関連部門」を新設